

### 第3回公共施設の地域別あり方検討会（ワークショップ以外）での参加者発言要旨

#### ○第2グループ：中北部・中部・中南部ブロック（部長挨拶後の発言 H27.11.29 14:00～）

・第1回で使用された資料に、貸室の稼働率についての記載があり、稼働率 50%以下が 85%の施設、40%以下の施設が 75%であり、施設が有効かつ効率的に利用できていないと書かれている。50%や 40%の稼働率が低いとした根拠は何か。

私見として、勤めに出ている人と会議等を行おうとすれば、必然的に晩の利用となる。それで稼働率 100%と考えていい。それ以外に朝、昼に利用されれば、稼働率は 200%、300%であるべき。

これまでに貸室の稼働率に対しての目標が上げられたり、貸室の利用促進に対する手立てがなされたりしていないのに、稼働率が低いとされ、集約化を検討されることはおかしい。幼稚園でも同様で、長い間 2 年保育を 3 年保育にしてほしいと要望している。それに対する改善をしていないのに、現在園児数が年少 20 人、年長 25 人以下で統廃合が検討されることはおかしい。

効率的に利用していくために、どのようにしていくかを考えるが先でないのか。

・皆忙しい中参加している。貸室の稼働率の示し方などのご意見は、この場にいる人全員で共有できた。しかし、この場はそれについて議論するために来たわけではない。データの示し方の根拠について成否を問うのではなく、示されたデータを基に前向きな議論をする時間にしたい。

・議論の出発点として必要となる、データの示し方がおかしいと意見している。  
貸室を朝・昼・晩と利用されれば稼働率 300%としていいのではないか。  
それを 40%や 50%として稼働率が少ないとするのはおかしいのではないか。

・稼働率が低いことの原因として、公民館の利用のしおりのなかで、これまで無償で利用できていたことが、有償に変更となっている部分がある。私自身が参加しているところでは、会費をプラスすることで活動を継続させている。利用したいと考えている人たちの利用条件が悪くなれば、稼働率が低くなるのが当然である。このことについても総合的に判断していかなければいけない。

前回、方向性を考えていくと回答いただいたが、やり方が変わっていない。市民の意見を反映していくためには、この方法以外の方法があるのではないか。この問題について早く回答を得るためにやっているように感じる。この前提を変えないといけないのではないか。そのような実情などを把握するため、横の連携も深めてから会を開催してほしい。

・パシフィックコンサルタンツ(株)は、どのような経緯で選定されたのか。  
行政と市民との 2 者だけで進めていくことではいけないのか。  
業者は無償で参加しているのか。